

(発行所) (株)エルエルアイ出版

〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-27-4 靴下会館7階

TEL 03-3868-0738 FAX 03-5809-3650

<http://www.lli-publishin g.com/>



被災地に衝立を寄贈

東日本大震災は発生から2か月以上経過した現在も大きな影響を与えている。太平洋沿岸の住民は住宅を流出し、現在も避難所での生活を余儀なくされている。また、仮設住宅の建設も土地の選定の関係で遅々として進まず、被災者の救済は途上の段階だ。

今も日々の生活に不便を感じている被災者に対し、建具業界として何かできないだろうか。こう考え、東京建具協同組合と神奈川県建具協同組合は共同で被災地に衝立を寄贈することを決めた。東京の衝立は高さ985mm、幅1260mm、中央に風通しの良いスタレを使用した。適度にプライバシーの確保ができると共に、木の香りと流れる風が癒しを与える。神奈川県は東京よりも若干高さを低くし、中央には桐材を使用した。足のコマの部分が回転するため、収納スペースは小面積で済む。

納入日は5月18日。東京の衝立は深川青年部、神奈川県も青年部の

有志が集い、被災地まで直接運搬した。東京で製作した衝立は約1000枚。神奈川県は140枚。東京の衝立は宮城県登米市の被災住民に、神奈川県は宮城県南三陸町の住民に役立てられることになった。

東京建具協同組合の一行は最初に登米市役所を訪問。ここまでの道程は震災の影響で道路が所々陥没したり隆起したりするなど、改めて震災の破壊力を感じられた。現地では宮城県建具業連合会の杉山隆一会長以下、宮城県の建具県連の方々3名が出迎えてくれた。市役所内では窓口となった登米市産業経済部商工観光課の神田雅春課長と会談。登米市は隣接する南三陸町から被災者を受け入れ、震災当初900名、現在も600名が登米市内の公共施設に避難している。

【詳細は本誌5月号】

